

社会科 対面・遠隔学習指導 実践報告

1. 学年と単元 3年「欧米諸国における『近代化』」

2. 教材について

本単元においては、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解することがねらいとされている。

「市民革命」「産業革命」に関わる世界史の内容は、小学校で学習していないために馴染みが薄いこと、毎時間異なる国の歴史を取り上げるために前後関係が理解しにくいことから、関心を持っていない生徒にとっては学習しにくい単元である。一方、小説や映画、音楽など様々な分野において断片的な知識や関心を持っている生徒も多く、それらを生かしながら、現代につながる「人権思想」の発達の背景を丁寧に学習したい内容でもある。

今回、遠隔授業期間中の学習と、分散登校（遠隔授業と対面授業）の学習をできるだけ結びつけながら、主体的・対話的な学びを実現することを模索した。

3. 本単元の目標／評価規準（重点／記録）

(1) 本単元の目標

- ・欧米諸国における市民革命や産業革命の動きを基に、欧米諸国が近代社会を成立させていったことを理解する。
- ・人権思想や社会の変革に関わる当時の人々の考えや、社会の課題の解決に向けた努力に関心を持っている。

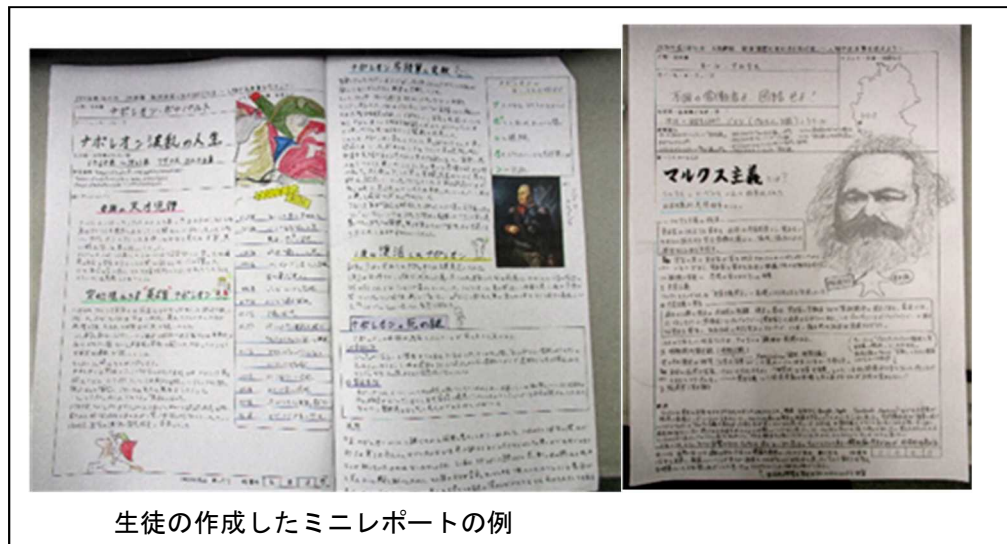
(2) 本単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアに進出したことを理解している。	欧米諸国の工業化の進展と政治や社会の変化の様子、日本への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	人権思想や社会の変革に関わる当時の人々の考えに関心を持ち、近代社会の課題の解決について主体的に追究しようとしている。

4. 生徒の学習の実際

遠隔授業においては、学習スタイルの急激な変化を避け、それまでの学習内容との連続性を保つために、パワーポイントのスライドに資料や発問などを載せ、音声で解説した動画をみてノートにまとめる方式を中心として、通常の授業のイメージに近い形にしようと考えた。学習スタイルの急激な変化によるとまどいを避け、それまでの学習内容との連続性を保つためである。動画は、1回の授業につき、5～8分程度の短い動画を3～4本作成し、参考動画のURLや練習問題なども掲載した。「はじめに」の動画の中に、授業の流れを示すスライドを用意し、教科書や資料集のページや課題、補足動画等の一覧をあらかじめ示すようにした。スライドの中には、ポイントをまとめた板書にあたるページも入れ（ノートマークをつける）、自分ではうまくまとめられない生徒にも対応可能なように配慮した。

最初の休校が始まった当初、これから学習する「欧米諸国の近代化」に登場する人物について調べるミニレポートを自宅学習の課題とした。終業式の日一日だけ登校した際に提出したものを印刷し、レポート集を作成して各家庭に郵送し、遠隔授業期間中に資料として活用することとした。クラスメートのレポート



生徒の作成したミニレポートの例

をみてコメントを記入する課題プリントなどを用意することで、互いに学び合う意識を少しでも持つるようにしたいと考えたものである。また、生徒が取り上げた人物や出来事をできるだけ動画でも解説することを意識した。

毎回の学習においては、NHKの10min、高校講座などを積極的に活用し、YouTubeに公開されているBBC放送やベルサイユ宮殿公式HPの動画なども参考としてURLを提示し、好評であった。

また、授業の最後には、出欠確認を兼ねて問題を設定した。単元の最初の方は「日本の浮世絵が西洋の芸術に与えた例を答えなさい」「フランス革命の前と後では社会はどのように変化したか。王政のあり方や人権宣言の内容をふまえて説明しましょう」など、調べて記述する内容の問題を多くし、次第に「ナポレオンを皇帝にすることに賛成か」「江戸幕府の滅亡は避けられなかったのか。フランスが幕府側についていたこともあり、もし慶喜が本気で戦えば勝てる可能性はあったという意見があります。あなたの意見を述べましょう。」など、立場や判断を問う問題を設定することとした。

記入された意見については、Moodle上では互いの意見を読むことができない設定のため、意見をまとめたものに解説をつけてアップしたり、対面授業が始まってから改めてプリントで渡し、振り返りを行った。

ナポレオンを皇帝にすることに賛成か、のアンケートについて、投票結果は賛成 63 名 (60.6%)、反対派 41 名 (39.4%) でした！！賛成の理由としては、当時は国民を守ってくれる英雄だったから、軍人としての功績が大きい、ナポレオン法典をつくり近代的な国家をつくっているから、国民全体のことを考えた新しい政治を行ったから、名言にぐっときたから、などでした。反対の理由としては、皇帝になると市民から離れてしまう、共和政をめざして革命をおこしたのだから皇帝にするのは矛盾する、皇帝になると絶対独裁者になるから、などでした。皆さんの冷静な意見をありがとうございます！ 当時のフランス国民は、賛成 360 万票 反対約 2600 票というもので、圧倒的な人気だったことがわかりますが、それだからこそ、ロシアとの戦いに負けた時に、反発がでたり、独裁を恐れる政治家によって、島流しになってしまったともいえますね。
(「Moodle ふりかえり」授業プリントより)

第 14 回 幕府の滅亡は避けられなかったのか？

(生徒の記述から)

「・・・イギリスのように最新機の武器を持ったフランスが幕府に味方していた ・いくつかの藩が幕府に味方

していた という2点から本気で戦った場合、勝つことができたと思います。また、錦の御旗の正当性を否定することができれば、味方も増えたと思います。しかし、日本に与える影響や、その混乱に乗じて日本を植民地化しようとする国があるかもしれないということを考えると本気で戦わなかった方が良かったのではないかと思います。」

「フランスが幕府に付いていたということが大きく、やはり私も本気で戦えば幕府の滅亡は避けられたのではないかと思います。しかし、政治が混乱していたこと、他国の脅威に対抗して独立するためには幕藩体制からの根本的な政治体制を変えることが必要だったことから、やはりいずれかのタイミングで滅亡することになっていたのではないかと思います。」（「Moodle ふりかえり」授業プリントより）

単元の最後には、「市民革命や産業革命について、現在の私たちの生活に結びつくものとして、最も重要な出来事と感じたものとその理由を述べる」ことをプリントに記入して、学習全体を振り返ることとした。三権分立の考えや、生活に変化をもたらした産業革命などをあげる生徒が多くみられた。

（生徒の記述から）

「自分はやはり王政や貴族、宗教家たちと一般民衆とを階級で分けた不平等に異を唱えた啓蒙思想家の登場が現代につながる重要なポイントだったと考える。生まれた時に作られている環境やシステムをつい当たり前とこととして問題視しないことが通常だと思うが、その時代に人間の不平等に気づき、主張をまとめ、社会に発信していた啓蒙思想家たちの出現は、中世以前にはなかったことであり、近代になった時代の変化を感じる。さらに、そこで生まれた思想＝基本的人権や主権は人々にあることなどは、日本国憲法をはじめ各方面で現代社会の根本理念として存在していることがすごいと思う。」（「欧米社会における近代化」ワークシートより）

5. 生徒の学習効果と展望

授業者にとって初めてのオンライン授業であったため、試行錯誤が続いたが、他学年や他教科のコースも閲覧できるようになったことで、方法や内容について参考にしたり、国語や美術、音楽などとのクロスカリキュラムを意識して動画を作成することができるようになった。

生徒に様子をきくと、丁寧に何度も繰り返してみることができたことと肯定的にうけとめている生徒と、動画だと印象に残りにくいと学習しにくさを感じている生徒がみられた。後者の中には、自分がわかっている確認するために小テストをしてほしいと要望するという者もいたため、復習問題なども掲載するようにした。

オンデマンド型の遠隔授業を行うことで、通常の授業ではごく一部しか扱うことができなかった資料の読み取りや動画を豊富に扱うことができた。毎回感想や質問を記入する自由記述の項目を設定したことで、興味を持った内容について熱心に述べる感想や、個人的に関心を持っていた内容について詳しく質問をして自ら学びを深めようとしている様子を読むことが可能となり、対面授業の時よりも、個々の生徒の反応を丁寧に把握することが可能となった。

一方、事後アンケートをみると、発展的な内容として多めに「参考」動画を紹介したことで、全部を視聴すると設定された時間枠を超えることから「時間がかかって大変だった」と受けとめた生徒もいた様子であった。全体の授業時数が削減されていたため、意図的に1時間あたりの分量を多く盛り込んだ際に負担が大きかった面もある。

初めての遠隔授業であったが、意見の記入や復習への活用など、対面授業にも生かしていきたい部分が多くあり、今後も工夫していきたいと考える。